

令和4年度 事業計画

基本方針

- 1 県民が健康で活力ある生活を築くため、さらなる県民スポーツの振興を図り、生涯スポーツ社会の実現を目指す。
- 2 長年培った選手育成のノウハウを活かし、さらなる競技力向上を図り世界に羽ばたく彩の国アスリートを育成する。
- 3 スポーツを通して、次代を担う青少年の健全育成を目指す。

事業概要

本会は、基本方針の下、第2期埼玉県スポーツ推進計画が掲げる「スポーツがつくる活力ある埼玉」に貢献できるよう各種事業を推進し、スポーツ団体ガバナンスコード＜一般スポーツ団体向け＞に基づく組織運営を図ります。

公益1 生涯スポーツ振興事業では、総合型地域スポーツクラブの更なる充実と、安定した運営を推進するため、一般社団法人彩の国SCネットワークと連携し、本年度から運用が開始される登録・認証制度や新たな地域スポーツの在り方を構築するための中間支援組織の整備に努めます。

また、各種助成事業やスポーツ啓発事業に取り組み、更なる生涯スポーツの普及・充実を図り、スポーツの魅力をアピールします。

公益2 競技力向上事業では、「国民体育大会埼玉県選手強化5か年計画」を1年延長し、「天皇杯・皇后杯ともに第3位以上」を達成するため、「第77回国民体育大会いちご一会とちぎ国体」では、オール埼玉体制をより強固なものとし、目標の実現に向け、諸事業に取り組みます。

とりわけ、次代を担うジュニア選手の発掘・育成の充実を目指し、「彩の国プラチナキッズ・彩の国プラチナジュニア発掘育成事業」と「彩の国ジュニアアスリートアカデミー事業」などで構成する「彩の国アスリート育成プロジェクト」による県内競技環境の充実と加盟競技団体による主体的な発掘・育成・強化への積極的支援を講じます。さらに、担当指導者の連携強化を図るための「ジュニア強化対策合同会議」を実施します。

また、世界に羽ばたく彩の国アスリートから、将来的に活躍が期待される選手に対し、スポーツ科学の知見に基づくサポート事業を充実させ、各競技団体が配置するスポーツ科学担当者との連携の下で競技力向上を総合的に支援します。

公益3 スポーツ少年団事業では、県内・国内の交流事業をはじめとする諸事業を通して、次代を担う青少年の健全育成の充実を努めます。とりわけ、指導者による暴力・暴言の撲滅を目指し、市町村スポーツ少年団と連携を強め、指導者研修事業をはじめ、各種研修事業の充実を努めます。

公益4 スポーツ総合センター運営事業では、利用者のニーズに応え、トレーニング相談や利用者講習会の拡充に努め、より一層サービスの向上を図ります。

収益1 大宮公園スポーツランド(飛行塔)運営事業では、利用者の安全確保を最優先に、サービス向上に努め利用者の拡大を目指します。

収益2 埼玉アイスアリーナの管理運営事業では、様々なイベント等を実施し、冬季スポーツの魅力をアピールし、利用者の拡大を目指します。

公益Ⅰ 生涯スポーツ振興事業

目標：健康で明るく豊かな地域社会の実現を目指す。

1 総合型地域スポーツクラブの育成推進 【予算額：5,400,000円】

【内容】埼玉県と連携・協力して、地域住民による自主的、主体的な総合型地域スポーツクラブの組織化を図るため下記の支援業務を行う。

(1) クラブアドバイザーの配置(1名)

〔内容〕総合型地域スポーツクラブ等の自立した運営・活動及び育成等に関して専門的な指導を行う。

(2) 広域スポーツセンター機能推進業務

〔内容〕総合型地域スポーツクラブの自立した運営及び活動の支援のため、一般社団法人彩の国SCネットワークと協力し、以下の業務を行う。

ア 総合型地域スポーツクラブ等運営活動支援

(ア) 市町村に対する訪問等による専門的助言

〔事業内容〕クラブアドバイザーより市町村のスポーツ関係担当者等に対し、説明会や会議で、総合型地域スポーツクラブの意義や必要性等を説明するとともに、出席者等からクラブ設立に必要な情報を収集し、専門的な助言を行う。

〔実施会場〕県内公共施設等

〔対象〕行政関係者及びクラブづくりに意欲のある者

〔経費〕受取参加料：無料 派遣等にかかる費用：無料

(イ) 総合型地域スポーツクラブに対する訪問等による専門的助言

〔事業内容〕クラブアドバイザーによる現地ヒアリング等を実施し、クラブの活動状況や運営状況などを把握することでクラブ運営に必要な専門的な助言を行う。

〔実施会場〕各クラブのクラブハウスや公共施設等

〔対象〕総合型地域スポーツクラブの運営に関わる者

〔経費〕受取参加料：無料 派遣等にかかる費用：無料

(ウ) 総合型地域スポーツクラブを目指す団体に対する訪問等による専門的助言

〔事業内容〕総合型地域スポーツクラブを目指す団体等にクラブアドバイザーによる現地ヒアリング等を実施し、団体等の活動状況や運営状況などを把握することでクラブ設立に必要な専門的な助言を行う。

〔実施会場〕各団体の事務所や公共施設等

〔対象〕総合型地域スポーツクラブの設立に関わる者

〔経費〕受取参加料：無料 派遣等にかかる費用：無料

(エ) 一般社団法人彩の国SCネットワークの活動支援(補助金1,000,000円)

〔事業内容〕一般社団法人彩の国SCネットワークに対し、運営における活動支援を行う。

〔実施会場〕一般社団法人彩の国SCネットワーク事務局及び各会場

〔対象〕一般社団法人彩の国SCネットワーク会員クラブ関係者

〔経費〕受取参加料：無料 派遣等にかかる費用：無料

イ 総合型地域スポーツクラブ活動実態調査の実施

〔事業内容〕 県内の総合型地域スポーツクラブに対し、活動状況や課題等を把握するため、書面及び現地訪問による、概要調査を行う。

〔対 象〕 県内で活動する総合型地域スポーツクラブ

ウ 総合型地域スポーツクラブ連絡会議の実施

〔事業内容〕 県内の総合型地域スポーツクラブ代表者等を対象にクラブに関わる情報の共有やクラブ間連携を図るために連絡会議を実施する。

〔実施会場〕 県内の公共施設等

〔対 象〕 クラブ代表者、クラブマネージャー、クラブ関係者等

〔経 費〕 受取参加料：無料 派遣等にかかる費用：無料

エ 登録・認証制度の運用

〔事業内容〕 県内の総合型地域スポーツクラブがより公益性の高い「社会的な仕組み」として、永続的に充実した活動を行えるよう、日本スポーツ協会と連携し、総合型地域スポーツクラブが公益的な事業体としての役割を果たしていくために、活動実態や運営実態、ガバナンス等についての要件を基準として登録審査を行う。

〔対 象〕 県内で活動する総合型地域スポーツクラブ

(3) 広報活動

ア 総合型地域スポーツクラブに係わる情報提供

〔事業内容〕 総合型地域スポーツクラブの支援業務等で得た情報を基に、各クラブの他、行政担当者やマスメディアなど随時情報提供を行う。

イ ホームページの掲載・更新

〔事業内容〕 総合型地域スポーツクラブの支援業務等で得た情報やクラブ作りのノウハウを本会ホームページに掲載・更新を行う。

2 市町村体育・スポーツ協会連絡会議の開催

〔予算額：160,000円〕

(再掲：法人 1—(4))

〔事業内容〕 地域における生涯スポーツの振興を図るため、市町村体育・スポーツ協会との意見・情報交換を行うとともに、関係機関・関係者との連携を強化する。

〔実施時期〕 6月下旬～7月上旬で調整

〔実施会場〕 東部：蓮田市 西部：滑川町 南部：桶川市 北部：秩父市

〔経 費〕 会場使用料・参加者飲み物代

3 日本スポーツ協会公認コーチ1・コーチ2養成講習会の開催

〔委託事業〕

(1) コーチ1：専門科目2競技：バレーボール・バドミントン

(2) コーチ2：共通科目

専門科目1競技：水泳（自主事業）

〔事業内容〕 県内各地域において、スポーツ教室等で指導をする人材を養成する。

〔実施期間〕 8月～12月

〔受講対象〕 原則として、指導員18歳以上。※競技毎で別に定める。

〔経 費〕 支払参加料(個人負担：全競技共通)

共通科目：NHK学園(通信講座)へ直接払い

専門科目：日本スポーツ協会へ取り纏めて支払

4 県民総合スポーツ大会及び埼玉県駅伝競走大会の開催 [予算額：2,150,000円]

〔事業内容〕埼玉県、埼玉県教育委員会及び関係団体とともに実行委員会を設置し、企画・運営に参画をするとともに、資金の提供を行なう。

(1) 県民総合スポーツ大会

〔実行委員会〕埼玉県、埼玉県教育委員会、公益財団法人埼玉県スポーツ協会、特定非営利活動法人埼玉県レクリエーション協会、埼玉県スポーツ推進委員協議会、各市町村、各市町村教育委員会、各市町村体育・スポーツ協会、各市町村レクリエーション協会、一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会

〔実施期間〕5月～2月

〔会場〕県内各地

〔対象〕

ア 競技部門

- ・本会加盟競技団体・県高等学校体育連盟大会・県中学校体育連盟大会・県高等学校野球連盟大会・県スポーツ少年団大会・特別支援学校大会・ふれあいピック大会・障害者スポーツ大会関係団体

イ コミュニティ部門

ウ レクリエーション部門

エ 県レク協加盟種目団体大会・県小体連地区スポーツ大会

※大会数 約 500 参加者数 約 400,000名

オ スポーツフェスティバル 2022

〔実施期日〕調整中

〔実施会場〕熊谷スポーツ文化公園

〔経費〕支払助成金：実行委員会経費の負担(150,000円)

(2) 埼玉県駅伝競走大会

〔実行委員会〕埼玉県・埼玉県教育委員会・公益財団法人埼玉県スポーツ協会・一般財団法人埼玉陸上競技協会・埼玉県学校体育協会・読売新聞東京本社さいたま支局・さいたま市・上尾市教育委員会・桶川市教育委員会・北本市教育委員会・鴻巣市・鴻巣市教育委員会・行田市教育委員会・熊谷市・熊谷市教育委員会

ア 第5・6部(中学生：兼全国中学校駅伝大会予選)

〔実施期日〕令和4年11月5日(土)

〔実施会場〕熊谷スポーツ文化公園内

〔参加区分〕5部 中学校男子 63チーム(6区 18.26km)

6部 中学校女子 63チーム(6区 12.26km)

イ 第1～4部

〔実施期日〕令和5年2月5日(日)

〔実施会場〕さいたま新都心駅前～熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

〔参加区分〕1部 一般男子 (新都心～熊谷6区 42.195km)

2部 市町村男子 (新都心一熊谷6区 42.195km)

3部 高校男子 (新都心一熊谷6区 42.195km)

4部 高校・一般女子(鴻巣一熊谷5区 20.7km)

〔経費〕支払助成金：実行委員会経費の負担(ア・イで2,000,000円)

5 「県民スポーツの日」及び「県民の日」への支援

(1)「県民スポーツの日」(6月第1日曜日)・「県民の日」(11月14日)、公益財団法人埼玉県スポーツ協会創立記念日(2月26日)にスポーツ総合センターのトレーニング場を無料開放します。

(2)トレーニング相談の実施

6 スポーツ活動の支援事業の充実

〔予算額：8,412,000円〕

(1)国民体育大会実施競技団体スポーツ安全管理推進活動の実施

〔内容〕公益財団法人日本スポーツ協会国民体育大会参加者傷害補償制度の加入促進と安全意識の向上を図る。

(2)秩父宮杯埼玉県自転車道路競走大会の支援

〔実施期日〕令和4年9月4日(日)

〔実施会場〕秩父市内特設コース

〔対象〕一般男子、高校生A・B等、全9部門

〔経費〕支払負担金無

(3)スポーツ活動助成事業(助成事業)

〔事業内容〕本会、加盟団体等の指定寄付により、スポーツ団体の活性化を図る。

ア サイニチホールディングス杯第6回彩の国Springフィギュアスケート競技会

〔実施期日〕令和4年5月3日(火)～5日(木)

〔実施会場〕埼玉アイスアリーナ

〔経費〕支払助成金：4,000,000円

イ サイニチホールディングス杯埼玉県室内選手権水泳競技会

〔実施期日〕令和5年2月下旬

〔実施会場〕立教学院新座キャンパス

〔経費〕支払助成金：2,000,000円

ウ スポーツ活動(環境整備)支援事業

〔内容〕スポーツ活動に必要な競技用器具機材等の調達や活動する場所の確保などスポーツ環境の整備を行うことに助成する。

エ アイスホッケージュニア(中学生)育成事業

※埼玉県アイスホッケー連盟への助成事業

〔実施期間〕令和4年4月～令和5年3月 各月第三日曜日

〔実施会場〕埼玉アイスアリーナ

オ 女子アイスホッケー普及・育成事業

〔期日〕毎月2回程度、埼玉県アイスホッケー連盟が指定する日

〔対象〕県内在住・在学の女子、または県アイスホッケー連盟登録者等。

体験教室修了者及び県アイスホッケー連盟普及事業参加者で、埼玉選抜等で活

動した者。

(4) 彩の国スポーツ推進パートナー登録制度の運営

各専門家が自身の得意分野を活かした業務支援活動ができる制度を整え、本会関係スポーツ団体等の人材育成と人材活用を促す環境を整備する。

7 スポーツ関係団体運営補助事業の実施

〔予算額： 40,694,000 円〕

〔事業内容〕 県民のスポーツ活動の窓口となる市町村体育・スポーツ協会及び県を単位とする競技団体に対して、その活動が円滑に行われるように各団体の運営費を補助する。

(1) 本会加盟団体運営補助事業

ア 市町村体育・スポーツ協会

40,000 円＋推計人口(1月1日)×1.5 円(千円以下切り捨て)

イ 本会加盟競技団体：一律 150,000 円

(2) 学校体育団体等補助事業

〔事業内容〕 本会の他に、県を単位とするスポーツ関連の統括団体の県費補助金を取り纏めて手続きをすることにより、円滑な要求活動と事務の効率化を図る。

〔対象団体〕 埼玉県学校体育協会・埼玉県高等学校体育連盟・埼玉県中学校体育連盟・埼玉県女子体育連盟・埼玉県小学校体育連盟・特定非営利活動法人埼玉県レクリエーション協会・埼玉県スポーツ推進委員協議会、7 団体

8 顕彰事業

〔予算額： 2,622,518 円〕

(1) 埼玉県スポーツ賞

〔事業内容〕 本県のスポーツの振興・発展に貢献し、その功績が顕著な者に功労者表彰を贈り表彰する。

また、国際大会や全国大会において、優秀な成績を収めた選手又はチーム等に優秀選手賞・栄光賞・会長特別賞を贈り表彰する。

〔表彰の種類〕

功労賞：長年にわたりスポーツの指導に精通し、著しい功績をあげ、他の者の模範である者で、地域のスポーツの普及・発展に寄与した者

優秀選手賞：一般及び中学生・高校生(またはチーム)が、オリンピック大会・国際大会及び全国大会等で優勝した者(またはチーム)と3位まで入賞した者(またはチーム)

栄光賞：国際競技会・国内競技会において、特に傑出した競技成績を収めたチーム・団体(栄光旗)と個人(栄光楯)

会長特別賞：世界大会等で日本を代表し、特に顕著な活躍をした本県所属及び本県ゆかりで本会加盟競技団体が認めた者、また選考委員会が認めた者

※会長特別賞は随時

奨励賞：埼玉県内の小学校に在籍する児童で、公益財団法人日本スポーツ協会加盟の中央競技団体が主催する全国的競技大会に出場し優勝した者並びに、国際連盟が主催する国際大会で8位までに入賞した者

〔実施期日〕 令和5年3月12日(日)

〔実施会場〕 ラフレさいたま 櫻ホール

〔費用〕 賞状・額・栄光旗・栄光楯・会長特別賞トロフィー制作代等

(2) 公益財団法人埼玉県スポーツ協会体育優良児童生徒表彰

〔事業内容〕 スポーツ全般において優秀な成績を収めるなど、敬愛を受け真に他の生徒の模範となる生徒を表彰する。

〔実施会場〕 各学校の施設

〔実施時期〕 表彰式は、原則、卒業式で行う

〔経費〕 賞状

(3) 生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体表彰(文部科学大臣)

〔内容〕 地域におけるスポーツの健全な普及及び発展に貢献し、地域におけるスポーツの振興に顕著な成果をあげたスポーツ関係者及びスポーツ団体を候補者(団体)を推薦する。

9 広報・普及活動事業

〔予算額〕 7,521,900円

〔事業内容〕 スポーツ活動の普及・振興のため作成した本会キャッチフレーズ「まず参加たのしくスポーツ みんなが主役」の活用や「スポーツ埼玉」の発刊、ホームページ、懸垂幕の活用などを行う。

(1) 「スポーツ埼玉」誌の発刊

〔事業概要〕 本会広報誌「スポーツ埼玉」は、本県が取り組んでいるスポーツ施策や本協会が行う講演やシンポジウムなどを掲載する他、国民体育大会埼玉県選手団の活躍(及び成績)、県内の指導者が進める本、本県の体育・スポーツの発展に人生を捧げた偉人などの紹介と多岐にわたってスポーツ情報の発信をしていく。

〔発刊及び作成部数〕 年4回 各11,000部

〔主な配布先〕 県歯科医師会会員(県内歯科医院)、県理容組合加盟店、県内ゴルフ練習場、県健康スポーツ医会会員、県内金融機関(埼玉りそな・武蔵野・埼玉縣信用金庫・JAバンク埼玉)県内各店舗、県内小中高校及び大学、県内公共スポーツ施設、図書館、郵便局(一部)、埼玉県人会会員

〔費用〕 印刷製本費・通信運搬費 ※無償配布

(2) IT及びホームページの活用と充実

〔事業概要〕 ホームページを活用し、ブログ式による各種情報の提供をはじめ、スポーツ大会やスポーツ活動を撮影した写真提供などの充実を図る。

〔費用〕 サーバー管理料(及び一部更新料)

(3) キャッチフレーズの活用

ア 各種諸事業での横断幕の活用

- ・スポーツ総合センターロビーに掲示
- ・秩父宮自転車道路競走大会に掲示
- ・埼玉県駅伝競走大会(陸上競技場)に掲示

イ 封筒への刷り込み

ウ スポーツ少年団種目別大会等での明記(掲示)

- ・全ての実施要項等に明記

(4) 懸垂幕の活用

〔主な掲示物〕

- ・スポーツ総合センターの掲示
- ・キャッチフレーズ(まず参加たのしくスポーツみんなが主役)の掲示
- ・埼玉アイスアリーナに関する掲示
- ・埼玉県スポーツ協会創立 100 周年に関する掲示

〔費用〕 懸垂幕作成代

10 埼玉県立武道館の指定管理

〔予算額：548,000 円〕

(1) 株式会社サイオーと共同事業体を組織し、埼玉県立武道館の指定管理を行う。

(2) 県立武道館の主催事業について協力・支援を行う。

ア スポーツフェアの開催

〔実施期日〕 令和 4 年 5 月 15 日(日)

〔実施会場〕 埼玉県立武道館(全館)及びスポーツ総合センターアリーナ他

〔対 象〕 武道館教室生及び地域住民

〔経 費〕 開催経費負担

イ 新春初稽古

〔実施期日〕 令和 5 年 1 月 4 日(水)

〔実施会場〕 埼玉県立武道館(全館)

〔対 象〕 武道館教室生

ウ トップアスリート青少年空手道組手講習会

〔実施期日〕 令和 4 年 10 月 23 日(日)

〔実施会場〕 埼玉県武道館

〔対 象〕 埼玉県空手道連盟登録者

11 スポーツ活動における安全管理

〔予算額：2,400,000 円〕

(1) 体育・スポーツ協会等主催行事にかかる賠償責任保険制度の活用

〔事業概要〕 年々、スポーツ傷害やスポーツ事故が増えている中、主催者の事故等への賠償責任に備えるため、本会、加盟市町村体育・スポーツ協会及び加盟競技団体が加入する。

〔保険の概要〕

- 1 契約者：公益財団法人埼玉県スポーツ協会
- 2 被保険者：公益財団法人埼玉県スポーツ協会ならびに各市町村体育・スポーツ協会、加盟競技団体
- 3 保険期間：一年間(令和 4 年度(令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 4 月 1 日))
- 4 補償内容：対人対物共通てん補限度額：1 事故 5 億円
- 5 免責金額：50 万円
- 6 保険金支払の主な場合
 - ・落雷が予想される中、競技を継続したため、発生した落雷により参加者が死傷した。
 - ・イベントの観客を観客席に誘導するミスにより、観客が将棋倒しになり、観客にけが人が発生した。

- ・イベント中に事故が発生したが、主催者側の過失によりイベントの中断・救助活動が遅れたため、参加者が死傷した。
- ・大会会場の施設に明らかな破損が認められていたにも関わらず、イベントを強行実施したため参加者が死傷した。

(2) スポーツ傷害保険の活用

〔内容〕 総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団などの関係者にスポーツ安全協会（傷害保険）の活用を呼びかけ、安心したスポーツ活動の推進を図る。

(3) リスクマネジメントに係る研修会の促進

〔内容〕 総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団などの関係者にリスクマネジメントに係る研修会を行い、安心したスポーツ活動の推進を図る。

12 寄付・賛助会員制度の推進

誰もが本県スポーツを応援できる仕組み「スポーツ埼玉未来資金」を運営する。

(1) 一般寄付

〔内容〕 広く本県スポーツの活動支援に充てる寄付を募る。

(2) 特定寄付

〔内容〕 事業を指定して、本県スポーツの活動支援に充てる寄付を募る。

(3) 賛助会員制度の推進

〔内容〕 本県スポーツの振興を推進するため、広く県民の協力を得て事業資金を調達し、県民が明るく豊かな生活を送ることができるよう活動する本会の趣旨にご賛同くださる方々を募る。

13 スポーツ教室の開催

〔予算額： 3,868,100 円〕

〔事業内容〕 本会管理運営施設を活用し、スポーツの普及と強化、県民の健康増進を図る。

(1) ライフル射撃体験教室

〔実施期間〕 令和4年7月～9月・1月～3月 計2コース(1コース5回程度)

〔実施会場〕 スポーツ総合センター

〔受取参加料〕 5,000円(1名/コース)

(2) 健康づくり教室

〔実施期間〕 令和4年6月～11月 計2コース(1コース6回程度)

〔実施会場〕 スポーツ総合センター

〔受取参加料〕 11,000円(名/コース)

〔定員〕 10名/コース

(3) 団体利用者スケート教室

〔実施期間〕 令和4年6月～令和5年3月

〔実施会場〕 埼玉アイスアリーナ

〔受取参加料〕 無料

(4) 課外授業用スケート教室

〔実施期間〕 令和4年6月～令和5年3月

〔実施会場〕 埼玉アイスアリーナ

〔受取参加料〕 無料 ※滑走料は受益者負担

公益2 競技力向上事業

目標：次代を担う彩の国アスリート並びに世界に羽ばたく彩の国アスリートを育成するとともに、天皇杯・皇后杯ともに3位以上を目指す。

1 国民体育大会

【予算額：3,437,963円】

(1) 埼玉県予選会の実施

〔事業内容〕国民体育大会に参加する競技団体に対して公正で公開された選考会の運営を指導・監督する。

(2) 関東ブロック大会埼玉県選手団の編成及び派遣

〔事業内容〕県予選会を経て選ばれた選手で選手団を編成し、第77回国民体育大会・特別国民体育大会冬季大会関東ブロック大会に選手団を派遣する。

〔競技会場〕東京都

〔開催時期〕各競技により日程が異なる

(3) 第77回国民体育大会(会期前：水泳含む4競技/本大会：陸上競技含む33競技)

ア いちご一会とちぎ国体

〔競技会場〕会期前：栃木県内 宇都宮市 他 4市町

本大会：栃木県内 宇都宮市 他 22市町村（一部競技は千葉県開催）

〔開催期日〕会期前：令和4年9月10日(土)～9月19日(月)

本大会：令和4年10月1日(土)～10月11日(火)

(4) 特別国民体育大会冬季大会

ア スケート・アイスホッケー競技会

〔競技会場〕青森県八戸市・南部町

〔開催期間〕令和5年1月28日(月)～2月5日(日)

イ スキー競技会

〔競技会場〕岩手県八幡平市

〔開催期間〕令和5年2月17日(金)～20日(月)

(5) 第77回国民体育大会表彰式

〔内 容〕第77回国民体育大会において優秀な成績を収めた団体・個人を表彰。

〔実施期日〕令和4年11月18日(金) 会場：埼玉会館

〔対 象〕第77回国民体育大会 入賞団体・個人

(6) 国民体育大会功労賞特別表彰(公益財団法人日本スポーツ協会)

〔内容〕国民体育大会冬季大会または国民体育大会(いずれも本大会)に、都道府県選手団本部役員、監督、選手、大会役員、競技会役員、競技役員(視察員として参加した者は除く)のいずれかの立場で 通算30回以上参加した者を推薦。

2 第1期強化訓練事業

【予算額：39,100,000円】

〔内容〕県外への遠征試合(合宿)や県内で実施される全国・国際級の強化合宿等への合同合宿及び強化訓練を実施し、スポーツマンシップの下、フェアプレー精神を發揮し21世紀に躍進する「スポーツ埼玉」を代表するに相応しい選手の育成・強化を図る。

(1) 本大会強化訓練事業(37競技)

〔内容〕競技力の向上とスポーツマンシップの下に、フェアプレー精神の高揚を図り埼玉

県を代表するに相応しい選手の育成・強化を図る。

(2) 直前強化訓練事業

〔内容〕 本大会出場を決めた競技団体に対し、実践的な強化訓練を実施できるよう補助金を交付する。

3 第2期別強化訓練事業〔助成(補助)事業〕 〔予算額：1,200,000円〕

〔助成内容〕 本大会で達成できなかった課題を精査し、特別国民体育大会に向けて新たな戦力(選手)の発掘と育成を行うための助成(補助)事業。

〔対象団体〕 指定競技団体

4 スポーツ環境整備事業 〔予算額：7,500,000円〕

(1) 冬季競技重点施策〔助成(補助)事業〕

〔内容〕 強化訓練施設が不足している冬季競技に対し、強化訓練に不可欠なスポーツ活動の場を確保し強化訓練を実施するための助成(補助)事業。(冬季競技重点施策)

(2) 競技用器具機材等の整備

5 支援スタッフサポート事業

(1) 医学サポートスタッフの派遣

〔内容〕 国民体育大会において、本県選手の誤飲によるドーピングの防止、スポーツ傷害の防止やメンタル的サポートなど、医学サポートの充実を図る。

〔対象者〕 競技団体所属顧問医及び公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー又は医療関係の国家資格を有するトレーナー

(2) 競技別支援スタッフの派遣

〔内容〕 国民体育大会において本県選手が最大限の競技力を発揮できる環境を整備するため、支援スタッフを派遣する。

〔対象者〕 競技団体長から推薦のあった者を埼玉県選手団の支援スタッフに委嘱する。

ア 会長指名派遣

イ 支援スタッフ派遣者

ウ 競技団体負担派遣者

6 競技団体指定クラブ強化事業〔助成(補助)事業〕 〔予算額：3,750,000円〕

〔内容〕 各競技で優秀な選手を輩出しているクラブや今後期待されるクラブと連携し、選手強化を行うための強化事業に対して助成(補助)する。

7 ジュニア育成補助事業 〔予算額：16,500,000円〕 ※委託費は除く

(1) 彩の国ジュニアアスリートアカデミー事業〔助成(補助)事業〕

〔内容〕 県内の将来性の豊かなジュニアアスリートを見出し、その対象の特性や発達段階に応じた定期的・継続的なトレーニング等を実施できる体制を構築することにより、長期的な視点で世界に羽ばたくアスリートの育成拠点の整備を支援する。

(2) 彩の国アスリートアカデミー事業〔助成(補助)事業〕

〔内容〕 世界に羽ばたくトップアスリートを輩出することを目指し、各競技団体と連携し

て県内の高い競技水準を有する者に対して、より高水準のトレーニング環境における定期的・継続的なトレーニング等を実施できる体制を構築し、本県アスリートの育成拠点の整備を支援するため彩の国アスリートアカデミーを開催する。

(3)次世代アスリートの発掘・育成事業 【委託事業】

ア 彩の国 Platinumkids 発掘・育成事業

〔内容〕高い身体能力を有する小学生年代のアスリート候補を発掘・認定し、県競技団体と共にそれらのアスリートが自己の可能性を最大限に上げられる環境を整えつつ、競技団体が優れた資質を有する人材の獲得に資する支援を企図する。

(ア)発掘プログラム

(イ)対象者への研修の実施(育成プログラム)

(ウ)パスウェイ支援プログラム

イ 彩の国 Platinumjunior 発掘・育成事業

〔内容〕特定の競技に関わる非凡な能力を有する県内中学生年代のアスリートを新たに発掘・認定し、本県のスポーツ資源を活かしたサポートを通じて、それらのアスリートが自己の可能性に挑戦できる環境を整え、世界を目指して活躍するアスリートの輩出を企図する。

(ア)発掘プログラム

(イ)対象者への研修の実施(育成プログラム)

(ウ)競技別プログラム(競技専門トレーニング)

〔実施日〕令和4年4月～令和5年3月

〔対象〕競技別の彩の国プラチナジュニア認定者

ウ 彩の国 Platinumathlete 強化支援事業

〔内容〕本県の次世代を担うトップアスリート候補者が国内主要大会や国際大会等に万全な状態で挑戦できるよう、スポーツ医・科学サポート等を効果的に活用できる体制を整備し、本県からより多くのトップアスリートが持続的に輩出されることを目的に実施する。

(ア)発掘プログラム [令和5年度対象者の選考は埼玉県が執行]

〔趣旨〕将来、国際大会で活躍できるトップアスリートを本県から輩出するため、令和5年度対象者の募集を行う。※県委託事業のため執行しない場合がある。

(イ)競技力向上サポート

〔内容〕

a 本会パートナーによる認定者への専門的サポートの提供

パートナーとの連携を図り、該当選手のニーズに基づいたトレーニングプランの作成、メニュー作成支援・提供、研修機会の提供等を実施し、継続的に当該選手の育成・強化活動をサポートする。

b その他のサポート

競技力向上に有益なサポート手法を開発・検討する

(4)ジュニア強化対策合同会議

〔内容〕ジュニア期(小学生～高校生)のアスリートを発掘・育成する競技団体や中・高体連の指導者が一堂に会し、競技力向上に関する現状や課題等を共有するなど、相互の連携を深めることで一貫指導體制の構築をより一層推進し、世界に羽ばた

くアスリートの育成・強化基盤の整備と連携強化を支援する。

〔開催期日〕 令和4年12月7日(水)

〔実施会場〕 スポーツ総合センター

8 中・高体連育成強化事業の実施 〔予算額：8,000,000円〕

〔内容〕 中・高の一貫した指導理念に基づく有望選手の早期発掘により、有望選手のと県内定着を図り、世界に羽ばたく彩の国アスリートの登竜門である、全国中学校体育大会や全国高等学校総合体育大会での活躍とともに、愛郷心を芽生えさせ世界に羽ばたく彩の国アスリートを育成する。

9 埼玉県国民体育大会候補選手強化特別委員の委嘱 〔予算額：89,200円〕

〔事業内容〕 埼玉県と連携・協力し、当該年度の国体候補選手、監督、指導者が、より一層の競技力向上を図れるよう、所属する高等学校長及び中学校体育連盟会長を強化特別委員として委嘱する。

〔実施期日〕 令和4年6月7日(火)

〔実施会場〕 埼玉県県民健康センター

〔費用〕 会場使用料及び当日の会議参加者旅費交通費

10 国民体育大会必勝対策会議 〔予算額：150,000円〕

〔内容〕 競技力向上に関する指導者を対象に、トレーニングや技術指導等に関する研修を行うとともに、第77回国民体育大会での必勝体制の確立を図る。

〔実施期日〕 令和4年7月1日(金)

〔実施会場〕 スポーツ総合センター

〔対象者〕 国民体育大会実施40競技団体選手強化関係者

11 埼玉スポーツの未来を考えるシンポジウム 〔予算額：1,079,250円〕

〔内容〕 競技団体及び支援企業・大学等の関係者が一堂に会し、本県のスポーツの未来について協議し、相互理解と協力体制の確立を図る。

〔実施期日〕 令和5年1月中旬

〔実施会場〕 調整中

〔対象者〕 支援企業・大学、競技団体及び本会役員等

〔受取参加料〕 一人8,000円(懇親会費)

12 埼玉県スポーツ指導者研修会 〔予算額：465,000円〕

(1) 第1回埼玉県スポーツ指導者研修会

〔内容〕 長年培った選手育成のノウハウとスポーツ科学に基づく競技力向上を図るための研修会を実施する。

〔実施期日〕 令和4年12月3日(土) 会場：スポーツ総合センター

〔対象者〕 公益財団法人日本スポーツ協会公認コーチ・競技団体指導者

(2) 第2回埼玉県スポーツ指導者研修会

〔内容〕 公認スポーツ指導者及び競技団体強化担当指導者の資質の向上と活動の促進を図

る研修会を実施する。(公認スポーツ指導者制度に基づいた義務研修)

〔実施期日〕 令和5年3月4日(土)

〔実施会場〕 スポーツ総合センター

〔対象者〕 各競技団体推薦者等・公益財団法人日本スポーツ協会公認コーチ

(3) 彩の国スポーツ推進連絡会議 (旧支援スタッフ研修会)

〔事業内容〕 国民体育大会や彩の国スポーツ推進パートナーの役割等について専門家間の共通理解を深めるとともに、技量及び資質向上を図るため実施する。

〔実施時期〕 9月

〔実施会場〕 スポーツ総合センター

(4) コーチングセミナー

〔内容〕 本県スポーツの競技力向上の核となる選手強化に携わる指導者及び将来その担当となる次世代の指導者を対象にスポーツ指導者に必要な最新情報および団体運営に関わる知識等を提供し、国内外で活躍できるトップアスリートの育成を目指せる組織的基盤の構築とともにスポーツ科学の知見を活用した競技者育成手法を普及する。

〔実施期日〕 令和5年1月21日(土)

〔実施会場〕 スポーツ総合センター

〔対象者〕 競技団体発掘・育成・強化関係指導者

13 スポーツ団体インテグリティ推進事業(競技別研修会)〔助成(補助)事業〕

〔予算額：900,000円〕

〔内容〕 競技団体運営に係る研修会を開催する。

〔対象団体〕 加盟競技団体および埼玉県スポーツ指導者協議会の競技別指導者協議会

14 選手強化対策委員会要覧等の作成 〔予算額：900,000円〕

〔内容〕 競技力向上事業を効率的に推進ならびにスポーツ科学を活かした知見の普及を図る。

(1) 選手強化対策委員会要覧

〔発刊時期〕 6月

〔配布先〕 電子データにより選手強化関係者に配布／本会ホームページに掲載する

(2) スポーツ科学普及促進情報誌の企画・制作

〔発刊時期〕 8月

〔配布先〕 本会ホームページおよびJ-STAGEに掲載する

(3) コーチのしおり

〔発刊時期〕 3月 〔作成部数〕 500部

〔配布先〕 競技団体及び教育関係機関

〔費用〕 印刷製本費

15 スポーツ科学研究事業 〔予算額：917,600円〕

〔内容〕 スポーツを医学的、科学的、コーチング、アンチ・ドーピングの見地から研究し、競技力の向上と県民の健康の増進と生涯スポーツの振興を図る。

(1) アンチ・ドーピング教育啓発事業(旧 ドーピング防止教育啓発事業)

〔内容〕 高等学校総合体育大会・国民体育大会結団式及び国民体育大会選手選考会議、各種研修会等でアンチ・ドーピング教育・啓発研修を実施する。

〔対象事業・実施時期〕 コーチ研修会(7月)

高校総体結団式(7月)

国民体育大会選考会議(9月)

国民体育大会結団式・壮行会(9月)

国民体育大会少年種別代表者向け研修会(未定)

アンチ・ドーピングホットライン：通年

〔対象者〕 コーチ研修会：国体実施40競技団体選手強化関係者

高校総体結団式：インターハイ出場選手・関係者

国民体育大会選考会議：競技団体役員・監督

国民体育大会結団式：本大会出場選手・監督

アンチ・ドーピングホットライン：全競技者

(2) スポーツ医・科学相談事業

ア アスリート向けクリニック

〔内容〕 世界に羽ばたくトップアスリートを継続的に輩出するため、スポーツ医・科学の知見に基づく専門家からの個別または少人数での指導、助言を提供できる体制を構築する。加えて、それらの活動により得られたデータを継続的に蓄積・分析することにより本県競技力の向上に活用する体制を整備する

〔実施回数〕 6回程度を目安に開催

〔実施時期〕 5月～3月末

〔対象者〕 ジュニア育成補助事業対象者および過年度Platinumkids修了生

イ スポーツ指導者向けセミナー

〔趣旨〕 スポーツ科学の知見を効果的に指導現場で活用するためのセミナーを開催する。

〔実施回数〕 6回程度を目安に開催

〔対象期間〕 6月～3月末

〔対象者〕 本会加盟団体が推薦する競技指導者

ウ プラチナ☆ジム〔令和4年度プラチナ3事業対象者〕

〔趣旨〕 将来、国際大会で活躍できるトップアスリートを本県から輩出するため、スポーツ科学の知見を活用したトレーニングサポート等を行う。

〔対象期間〕 5月～3月末

〔対象者〕 彩の国プラチナキッズ

彩の国プラチナジュニア

彩の国プラチナアスリート

(3) 国体選手(彩の国アスリート)の健康管理事業

〔内容〕 国体候補選手の間診票による健康管理。

〔実施時期〕 配布：本大会 令和4年5月

冬季大会 令和4年12月

回収：本大会 令和4年8月

冬季大会 令和5年1月

〔実施会場〕国民体育大会埼玉県選手候補の問診票：本会で回収、ドクター及び薬剤師が
所見

〔対象者〕国民体育大会埼玉県選手候補

(4) 国民体育大会帯同ドクター派遣

〔内容〕ドーピングコントロールとスポーツ障害の防止を図るため、スポーツドクターを
本部役員として選手団に帯同させ、ドーピングの防止に努めるとともに、選手・監
督の要請を受け、スポーツ傷害の防止並びにメンタル的サポートを行なう。なお、
帯同ドクターは、日本スポーツ協会が定めた選手団編成基準の役員に位置付けら
れている。

〔派遣予定者数〕9名(会期前：3名・本大会3名・スケート・アイスホッケー2名・
スキー1名)

〔派遣期間〕

ア 会期前競技会(4競技) 令和4年9月10日(土)～9月19日(月)

イ 本大会(35競技) 令和4年10月1日(土)～10月11日(火)

ウ 冬季(スケート・アイスホッケー競技会) 令和5年1月28日(月)～2月5日(日)

エ 冬季(スキー競技会) 令和5年2月17日(金)～令和5年2月20日(月)

〔経費〕ドクターの派遣にかかる諸謝金

公益3 スポーツ少年団事業

目標：スポーツを通して、次代を担う青少年の健全育成を図るとともに、それらを育む指
導者の養成と資質の向上を図る。

1 埼玉県スポーツ少年団大会の開催

〔予算額 16,543,200円〕

(1) 埼玉県スポーツ少年団種目別大会の開催(13種目)

〔事業内容〕個々のスポーツの特性(ルールや指導技術など)を学び、それらを習得する過
程でマナー・モラルについて研鑽し次代を担う人づくりを行う。

あわせて、子どもたちを指導する大人たちの資質の向上を図る。

〔実施種目〕サッカー・軟式野球・バスケットボール・バレーボール・剣道・ソフトボー
ル・空手道・柔道・バドミントン・ソフトテニス・体操・複合・駅伝 13種目

ア 軟式野球

夏季小学生軟式野球交流大会

小学生軟式野球交流大会

中学生軟式野球交流大会

女子団員交流大会

イ サッカー

埼玉県サッカー少年団大会

埼玉県スポーツ少年団U-10サッカー大会

ウ バスケットボール

小学生バスケットボール交流大会

ジュニアリーダーバスケットボール交流大会

エ バレーボール

関東ブロックスポーツ少年団バレーボール大会埼玉県大会
埼玉県スポーツ少年団キッズ交流大会
埼玉県スポーツ少年団リーダー交流大会
全国スポーツ少年団バレーボール交流大会埼玉県決勝大会
埼玉県スポーツ少年団混合大会

オ 剣 道

埼玉県スポーツ少年団剣道交流大会
全国スポーツ少年団剣道交流大会選手選考会

カ ソフトボール

ソフトボール中央大会

キ 空手道

空手道交流大会

ク 柔 道

埼玉県スポーツ少年団柔道親善大会

ケ バドミントン

埼玉県スポーツ少年団バドミントン大会(団体戦)
埼玉県スポーツ少年団バドミントン大会(個人戦)

コ ソフトテニス

小学生ソフトテニス交流大会(個人戦)
小学生ソフトテニス交流大会(団体戦)
中学生ソフトテニス交流大会

サ 復 合

複合種目大会

シ 駅 伝

埼玉県スポーツ少年団駅伝競走大会

ス 体 操

埼玉県スポーツ少年団体操競技交流大会

〔実施期間〕令和4年4月～令和5年3月

〔実施会場〕県内各地

(2)東日本大震災復興祈念スポーツ交流事業

〔事業内容〕東日本大震災復興祈念事業を経て、福島県スポーツ少年団との相互交流事業へと展開をした。派遣、受入を隔年で実施し双方の団員がスポーツ活動、野外活動、交歓活動を通じてこころと身体を養いつつ、交流を深める事業。

〔実施期日〕令和5年1月5日(木)～7日(土)

〔実施会場〕福島県・国立磐梯青少年交流の家

〔参加対象〕福島・埼玉県スポーツ少年団 小学生団員 各80名

〔支払参加料〕9,000円

※埼玉県スポーツ少年団大会と合同実施

※今後、受入・派遣と隔年で実施していく。

2 第49回日独スポーツ少年団同時交流事業

【予算額 1,650,000円】

〔事業内容〕日本スポーツ少年団とドイツスポーツユース連盟間の、「日独スポーツ少年団国際交流協定書」に基づき、両国のスポーツ少年団の優れた青少年および指導者の相互交流により友好と親善を深め、国際的能力を高めると共に、両国の青少年スポーツの発展に寄与するための事業。

(1) 派遣事業

〔派遣期間〕令和4年7月31日(日)～8月17日(木)

〔派遣場所〕オンライン交流

※2022年度は日独両国の新型コロナウイルス感染拡大により両国の渡航・入国条件に制限があることから実施形態がオンラインへ変更となった。

〔派遣人数〕団員3名

※通常、指導者の派遣は茨城県と隔年派遣

〔費用〕個人負担250,000円(内県本部補助 団員：100,000円)

(2) 受入事業

〔受入期間〕調整中

〔交流方法〕オンライン交流

〔受入本部〕桶川市

〔受入人数〕調整中

〔経費〕受入市町村本部へ1,250,000円助成

〔内容〕受け入れ事業が3年連続中止となったため、埼玉県スポーツ少年団単独によるドイツとの交流事業を実施予定。オンライン形式で実施し、受入本部を中心としてスポーツや文化を通じた交流をはかりつつ、県内のリーダー年代の団員も参加できる事業とし、県内団員の国際交流への関心を醸成する。

3 指導者養成・研修事業

【予算額：7,338,568円】

(1) スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会

(県本部開催：5コース 市町村開催：15コース)

〔事業内容〕日本スポーツ協会指導者制度に基づき、単位団活動で指導にあたる指導者の養成。(検定合格者は所定の手続きを行う事により、公益財団法人日本スポーツ協会公認スタートコーチ(スポーツ少年団)が付与される。)

ア 県本部開催

〔実施期日〕令和4年9月4日(日)、その他4コースは各ブロックで調整中

〔実施会場〕スポーツ総合センター他

〔対象者〕令和5年度スポーツ少年団指導者登録予定者

〔受取参加料〕5,500円

イ 市町村開催〔助成(補助)事業〕

〔実施期間〕5月～2月

〔実施会場〕県内15箇所

〔対象者〕令和5年度スポーツ少年団への指導者登録予定者。

〔受取参加料〕5,500円程度(各会場で異なる)

(2) スタートコーチインストラクター研修会

ア 日本スポーツ少年団開催への派遣

〔内容〕日本スポーツ協会指導者制度に基づく「スタートコーチ(スポーツ少年団)」養成講習会の講師を充実させるため、旧認定育成員等に参加を促す。

〔開催期間〕10月～11月

〔開催会場〕研修会：全国7会場 講習会：大阪府

〔支払参加料〕研修会：一人2,200円(×参加者実数)

講習会：一人4,400円(×参加者実数)

イ 埼玉県スポーツ少年団開催事業

〔事業内容〕スポーツ少年団の牽引役を担う「旧認定育成員」並びに「スタートコーチインストラクター」が一堂に会し、今日的課題についての研究や・情報交換を通し、認定育成員の更なる資質向上と、スポーツ少年団の活動体制の充実を図る。

〔実施時期〕調整中

〔実施会場〕スポーツ総合センター

(3) 登録指導者研修会〔助成(補助)事業〕

〔内容〕スポーツ少年団登録指導者の資質の向上を図るために開催する研修事業へ補助金を交付する。

〔実施期日〕令和4年4月1日～令和5年3月31日

〔事業数〕15コース

〔支払補助金〕1コース30,000円(事業規模40,000円以上・市町村負担10,000円以上)

〔受取参加料〕原則、各会場とも無料(必要に応じて徴収可)

(4) 母集団研修会〔助成(補助)事業〕

〔内容〕少年団の育成とその活動の充実を図るために母集団の結成と活動を促進する研修事業へ補助金を交付する。

〔実施期間〕令和4年4月1日～令和5年3月31日

〔事業数〕35コース

〔支払補助金〕1コース30,000円(事業規模40,000円以上・市町村負担10,000円以上)

〔受取参加料〕原則、各会場とも無料(必要に応じて徴収可)

(5) 埼玉県スポーツ少年団指導者現地研修

〔事業内容〕県内市町村スポーツ少年団の種目別指導者が参加し、種目別大会の今後の運営方法について協議するとともに、相互の情報交換と情報提供を行う。

〔実施期日〕令和5年1月28日(土)・29日(日)

〔実施会場〕群馬県安中市磯部

〔対象者〕各市町村本部役員・各市町村種目別代表者・各市町村事務担当者

〔受取参加料〕16,000円

〔講師謝金〕50,000円×2名

〔会場費〕250,000円

(6) 研究大会等派遣

ア ジュニアスポーツフォーラム派遣(旧スポーツ少年団指導者全国研究大会、

旧ジュニアスポーツの育成と安全・安心フォーラムの統合事業)

〔実施期日〕 令和4年6月12日(日)

〔実施会場〕 東京都

〔支払参加料〕 1,100円(参加者自己負担)

イ 関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会派遣

〔事業内容〕 関東ブロック各都県のスポーツ少年団登録指導者の相互の連携と資質・指導力の向上を図り、指導活動の促進方法等について協議するとともに、スポーツ少年団活動の推進に資するために開催される研究協議会に関係者を派遣する。

〔開催期日〕 令和4年11月5日(土)・6日(日)

〔開催場所〕 ホテルニューイタヤ(栃木県)

〔派遣者数〕 4名

〔支払参加料〕 13,000円(一名につき)

※関東ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会は関東各都県輪番制(8年毎に開催)

4 リーダー養成・研修事業

〔予算額：1,454,068円〕

(1) シニア・リーダースクール派遣

〔事業内容〕 日本スポーツ少年団リーダー制度に基づき、ジュニア・リーダー修了者を対象に単位団及びリーダー会において模範となって活動する団員を派遣する。

〔開催期日〕 令和4年8月9日～12日

〔開催会場〕 静岡県 国立中央青少年交流の家

〔対象者〕 令和4年度スポーツ少年団団員登録を行い、義務教育を終了した20歳未満で、リーダースクール(ジュニアコース)修了者。

※令和4年度は新型コロナウイルス禍により、活動単位を満たしていない団員、または20歳の者も参加する事ができる。

〔支払参加料〕 16,500円(一人)

(2) ジュニア・リーダースクールの開講

ア ジュニアリーダースクール(県本部開催)

〔事業内容〕 日本スポーツ少年団リーダー制度に基づき、中学生を対象に単位団において模範となって活動する団員を育てる。

〔開催期日〕 令和4年8月19日(金)～21日(日)

〔対象者〕 各市町村スポーツ少年団における登録リーダーで、現在スポーツ少年団活動を行っており、将来もリーダー・指導者として活動のできる中学生

〔受取参加料〕 9,000円(一人)

イ ジュニア・リーダースクール補助事業(助成(補助)事業)

〔事業内容〕 小学生を対象に、将来ジュニア・リーダーを目指す団員を養成する。

〔実施予定〕 10コース

〔支払補助金〕 20,000円(総額30,000円)

(3) 全国スポーツ少年団リーダー連絡会派遣

〔事業内容〕 都道府県におけるリーダー会及びリーダー活動の充実・強化及びリーダー会の設置を促進する。

〔期日〕 令和4年6月11日(土)

〔会場〕 オンライン

〔対象者〕 リーダー育成担当指導者1名 代表リーダー1名

〔支払参加料〕 無料

(4) 関東ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会派遣

〔事業内容〕 都県の市区町村リーダー会の充実・強化及びリーダー会の設置を促進する。

〔開催期日〕 令和4年10月15日(土)・16日(日)

〔会場〕 千葉県立水郷小見川青少年自然の家(千葉県)

〔対象者〕 リーダー育成代表者1名 リーダー会代表3名

〔支払参加料〕 2,000円(一人)

(5) 埼玉県スポーツ少年団リーダー会の育成

〔事業内容〕 埼玉県スポーツ少年団リーダー会は、リーダーが持つ共通の課題などの情報交換や、今後の活動に活かす勉強会や、交流会活動などの事業を支援するため補助を行なう。

また、埼玉県スポーツ少年団大会やジュニアリーダースクールなど、県本部事業への協力も要請する。

〔支払補助金〕 200,000円

5 地域交流補助事業

〔予算額〕 2,500,000円

〔事業内容〕 スポーツ少年団活動の活性化と地域交流の促進を図るため、2市町村以上のスポーツ少年団が参加して実施される事業へ補助金を交付する。

〔実施予定数〕 50事業

〔支払補助金〕 50,000円(総額：100,000円 市町村負担50,000円以上)

6 国内交流大会派遣事業

〔予算額〕 1,311,162円

(1) 全国スポーツ少年大会(リーダーズアクション2022)

〔事業内容〕 各都道府県代表の団員及び指導者の参加のもと、集団生活を行い、スポーツ活動・文化活動・野外活動・交歓交流活動等を通して、青少年のこころとからだを育てるとともに、スポーツ少年団活動をより一層促進し、地域における活動の活性化を図るため、本県少年団代表者を派遣する。

〔開催期日〕 令和4年8月4日(木)～7日(日)

〔開催会場〕 未定(鹿児島県)

〔対象者〕 引率指導者1名 中高校生(ジュニアリーダー資格保有者) 5名

〔支払参加料〕 1人13,200円

(2) 関東ブロックスポーツ少年大会

〔事業内容〕 関東ブロックにおけるスポーツ少年団活動の活発化と交流活動の促進を図ることを目的に開催される野外活動の大会へ団員及び引率指導者を派遣する。

〔開催期日〕 令和4年8月5日(金)～7日(日)

〔開催会場〕 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都)

〔参加対象〕 引率指導者1名 小学6年生・中学生以上の団員15名

(3) 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会

〔事業内容〕 軟式野球を通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団活動の活性化を図ることを目的として実施される大会へ本県代表団を派遣する。

〔実施期日〕 令和4年8月4日(木)～7日(日)

〔実施会場〕 未定(奈良県)

〔参加対象〕 第41回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会の勝者2チーム

〔経費〕 支払参加料：無料 派遣費補助：5万円

(4) 全国スポーツ少年団剣道交流大会

〔事業内容〕 剣道を通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団活動の活性化を図ることを目的として実施する大会へ本県代表を派遣する。

〔期日〕 令和5年3月25日(土)～27日(月)

〔会場〕 未定(新潟県)

〔参加対象〕 団体1チーム 個人(中学生)男女各1名

〔経費〕 支払参加料：無料 派遣費補助：5万円

(5) 全国スポーツ少年団バレーボール交流大会

〔事業内容〕 バレーボールを通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団活動の活性化を図ることを目的として実施する大会へ本県の代表団を派遣する。

〔期日〕 令和5年3月24日(金)～27日(月)

〔会場〕 未定(静岡県)

〔参加対象〕 女子1チーム

〔経費〕 受取参加料：無料 派遣費補助：5万円

(6) 関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会

〔事業内容〕 団員に競技の喜びを経験する機会を提供すると共に、関東地区間の団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯感を高めることをねらいとして開催される大会へ、本県の代表団を派遣する。

〔開催期日〕 令和4年7月17日(日)～9月19日(月)

〔開催会場〕 神奈川県

総合開会式：県立スポーツセンター(検討中) 7月29日(金)

軟式野球：及川球場 7月17日(日)～18日(月)

バレーボール：県立スポーツセンターアリーナ1

7月30日(土)～31日(日)

バスケットボール：ひらつかサンライフアリーナ(調整中)

7月30日(土)～31日(日)

バドミントン：県立スポーツセンターアリーナ2

7月30日(土)～31日(日)

空手道：シンコースポーツ寒川アリーナ(調整中)

9月18日(日)～19日(月)

〔対象種目〕 軟式野球・バレーボール・バスケットボール・バドミントン・空手道

5 種目 6 団

※バスケットボールは、男女各 1 団

※バドミントン・空手道は県内選抜

〔経費〕 支払参加料：無料 派遣費補助：5 万円

7 埼玉県スポーツ少年団表彰

〔予算額：1,864,950 円〕

〔内容〕 スポーツ少年団において永年活動してきた登録者を表彰し、今後より一層の活動を促し、スポーツ少年団発展に寄与する。

〔期日〕 令和 4 年 12 月 17 日(土) 会場：未定

〔経費〕 受取参加料：6,000 円

※創立 60 周年記念表彰と合同実施

(2) 埼玉県スポーツ少年団創立 60 周年記念表彰

〔内容〕 創立 60 周年を記念してスポーツ少年団で活躍してきた登録者を表彰し、今後より一層の活動を促し、スポーツ少年団発展に寄与する。

〔期日〕 令和 4 年 12 月 17 日(土) 会場：未定

〔経費〕 受取参加料：6,000 円

8 日本スポーツ少年団顕彰

〔内容〕 永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある市区町村スポーツ少年団を推薦し、日本スポーツ少年団が表彰する。

なお、伝達式は、埼玉県スポーツ少年団表彰において実施をする。

9 スポーツ少年団「スポーツ ともだち 仲間たち」の発刊〔予算額：939,900 円〕

〔内容〕 県スポーツ少年団で行った事業や調査結果等を集約し、日頃の活動に役立てるために情報提供を行なう。

〔発刊時期〕 7 月・12 月・3 月 発刊部数：6000 部／1 回

〔配布先〕 各市町村スポーツ少年団本部・スポーツ少年団登録団(3 部)

〔経費〕 3 回分製作代

公益 4 スポーツ総合センター運営事業

〔予算額：71,613,678 円〕

1 スポーツ総合センターの管理・運営

(1) 施設利用に係る受付業務

〔内容〕 体育施設、研修施設、宿泊施設の利用について、年間の利用調整、利用申請の受付、施設使用料の徴収などを行う。

(2) 施設設備の維持管理

〔内容〕 建物や設備の維持管理を行うとともに、業務委託契約に係る業務進捗状況等の確認を行う。

(3) トレーニング場利用者講習会

〔内容〕 トレーニング場を個人利用するための講習会を行う。

〔実施期間〕 毎月 2 回(ただし、8 月は 1 回)

〔経 費〕 テキスト代 200 円(コピー代)

収益 1 大宮公園スポーツランド(飛行塔)の運営

東京ハイランド(有)へ委託運営

収益 2 埼玉アイスアリーナの管理運営

パティネレジャー(株)へ委託運営

法 人 県スポーツ協会運営事業

1 諸会議

(1)評議員会 年 2 回 (5 月・3 月)

(2)理事会 年 4 回 (5 月・9 月・12 月・3 月)

(3)加盟団体協議会 (5 月・3 月)

(4)市町村連絡会議 (6 月：県内東西南北各 1 会場(計 4 会場))

(5)専門委員会

ア 総務委員会 年 4 回 (5 月・9 月・12 月・3 月)

イ 選手強化対策委員会

・強化対策常任委員会 年 3 回(4 月・9 月・12 月)

・強化対策委員会 年 3 回(4 月・9 月・1 月)

・競技団体強化・経理担当者合同説明会 年 1 回(4 月)

・国民体育大会候補選手等強化特別委員会 年 1 回(6 月)

・第 77 回国民体育大会埼玉県選手団監督・選手選考会議、監督会議 年 1 回(9 月)

・国民体育大会競技別強化対策会議(11 月：2 日間)

・ジュニア強化対策合同会議 年 1 回(12 月)

・彩の国アスリート育成推進会議 年 3 回(4 月・9 月・12 月)

・選手強化等中期計画策定作業部会 適宜

ウ 普及委員会 年 2 回 (8 月・2 月)

・総合型地域スポーツクラブ登録審査ワーキング 年 3 回 (5 月・6 月・7 月)

エ 広報委員会 年 1 回 (6 月)

オ 施設委員会 年 1 回 (7 月)

カ スポーツ科学委員会 年 2 回(6 月・12 月)

キ 指導者委員会 年 1 回(7 月)

※その他、諮問委員会、特別委員会、各種打合せ及びスタッフ会議は適宜開催。

(6)特別委員会

・100 周年特別委員会 年 1 回

(7)その他

ア スポーツ少年団

- ・本部員会 年5回(5月・7月・10月・12月・3月)
 - ・代議員会 年1回(6月)
 - ・ブロック本部長会議 年4回(県内4地区各1回：11月～12月)
 - ・スポーツ少年団3専門委員会(指導者・リーダー育成委員会、企画広報委員会、活動交流委員会)及び指導者協議会、種目別担当者会議等(通年)
 - ・市町村スポーツ少年団事務担当者会議 年1回(3月)
 - ・埼玉県スポーツ少年団県大会及びジュニアリーダースクールスタッフ会議
- イ スポーツ指導者協議会
- ・理事会 年2回(6月・1月)